

第**115**期 業務のご報告

2023.04 ▶ 2024.03



理事長 森山 博志

平素の当金庫への変わらぬご愛顧とご支援に、心より厚くお礼申し上げます。

日本経済は、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行したことに伴い、社会経済活動が本格的に再開し、緩やかな回復基調にあります。

一方で、コロナ禍を経て急速に進展したデジタル化や脱炭素化への対応に加え、原材料価格の高騰、人手不足の深刻化など、中小企業を取り巻く経営環境は依然不透明な状況にあります。

こうしたなか当金庫は、事業者のみなさまには、資金繰り支援をはじめとして、創業支援、本業支援、経営改善支援、事業承継支援など、多彩な経営サポートメニューを取り揃え、そのご提供に取り組むとともに、個人のお客さまには、ライフサイクルに沿った各種商品・サービスのご提供に努めてまいりました。

また、2020年に制定した「ちょうしんきんSDGs宣言」をもとに、食品ロスの削減を目指した「ちょうしんきんフードドライブ」の実施、古本を活用した寄付プログラム「こどものみらい古本募金」への参加、小・中学生を対象とした金融教育の実施など、地域社会への貢献活動に取り組んでまいりました。

当金庫では、新たな中期経営計画「Shinking 2030 セカンド」（2024年度～2026年度）が、2024年4月からスタートしています。

この計画では、前中期経営計画から継続して、地域で最も身近な「ファーストアドバイザー」として、お客さま・地域の課題解決に貢献することにより、圧倒的な信頼を獲得することを「目指す姿」として掲げています。

また、重点事項として、「お客さまとの接点を増やす」、「お客さまにより良い提案を行えるようにする」ことを掲げ、職員に取り組むべき施策をシンプルに示すことにより、役職員が共通認識のもと“目指す姿”を追求していくこととしています。

当金庫の業務地区の多くは、人口減少や少子高齢化の進展が著しいといった構造的問題を抱えています。そのようななかであって、地域と運命共同体である当金庫は、地域の課題は当金庫の課題であるとの認識のもと、その解決のための人材育成や組織力強化などの態勢整備に努め、地域のみなさまと共に、豊かで活力あふれる地域社会を創ることを目指してまいります。

今後とも当金庫への変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年6月吉日

当金庫の概要

2024年3月末現在

創 業

1910年（明治43年）7月

出 資 金

9,899百万円

会 員 数

30,990名

本 店

千葉県銚子市双葉町5番地の5

店 舗 数

28店舗（千葉県内24店・茨城県内4店）

役職員数

390名

預 金

5,222億円

貸 出 金

1,660億円

自己資本比率

11.23%



銚子信用金庫業務地区

千葉県 銚子市、旭市、匝瑳市、茂原市、勝浦市、千葉市、東金市、成田市、市原市、香取市、習志野市、八千代市、船橋市、木更津市、市川市、袖ヶ浦市、白井市、四街道市、佐倉市、八街市、鴨川市、印西市、富里市、いすみ市、山武市、大網白里市、山武郡、長生郡、夷隅郡、香取郡、印旛郡

茨城県 神栖市、鹿嶋市、潮来市、行方市、鉾田市

経営理念

地域の最良のパートナーとして、常に地域と共に歩む。

柔軟で創造性の高い組織力を発揮し、地域金融機関としての使命を全うする。

秀れた人材を育成し、豊かで活力あふれる未来を創造する。

ビジョン

地域のニーズに応え、最良のサービスを迅速に提供する。

地域社会の豊かな発展を実現するトータルアドバイザーとして信頼度No.1を目指す。

揺るぎない経営基盤を確立し、信用金庫としての社会的使命を遂行する。

環境の変化に応じて自己革新できる柔軟な組織を目指す。

将来を見据えた人事政策、能力主義人事の徹底により秀れた職員を育成する。

自由闊達で想像力と活力にあふれた働きがいのある信用金庫を目指す。

行動指針

私たちは地域社会の一員として誇りをもって行動します。

私たちは積極かつ迅速に行動します。

私たちは何事にも信念をもって行動します。

私たちは明るい笑顔、感謝の心をもって行動します。

私たちはより高い目標に向かって行動します。

経営方針

2024年4月にスタートさせた新三か年計画「Shinking2030 セカンド」では、前三か年計画「Shinking2030」を踏襲し、新たに見直した3つの具体的な重点事項を掲げて、トライアル&ランを繰り返しながら、目指す姿に近づいていくこととしています。

“ちょうしんきんならではの”の活動をとことん追求し、お客さま・地域の課題解決に貢献しながら、地域との持続的な発展を目指してまいります。

Shinking 2030 セカンド

目指す姿

課題解決サポート体制を“ちょうしんきんならではの”の課題解決プラットフォームへと進化させ、最も身近な「ファーストアドバイザー」として、お客さま・地域の課題解決に貢献し、圧倒的な信頼を獲得する。

どのような状況にあっても前向きにトライアル&ランを繰り返し、知恵を集め共有しながら、絶えず柔軟に変化し続ける創造性の高い組織になる。

「人材を育む力」を“ちょうしんきんの強み”にまで高め、職員一人ひとりが自ら学び、成長し、お互いに助け合いながら、地域のみなさまと共に、豊かで活力あふれる地域社会を創る。

重点事項

お客さまとの接点を増やす

課題解決サポートに注力するため
金庫全体で業務の最適化を行いお客さまとの接点を増やします

お客さまにより良い提案を行えるようにする

職員の専門性を高め
多様化するお客さまのニーズにきめ細かく対応できるようにします

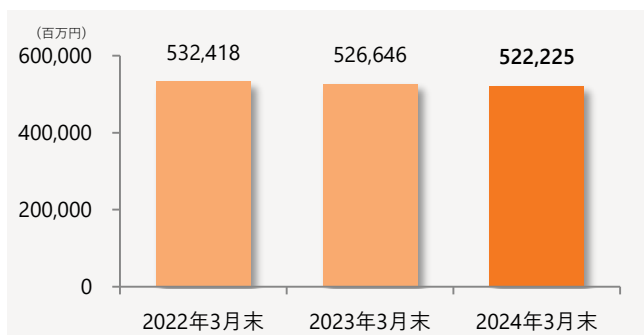
全職員が幸せにいきいきと働けるようにする

職員の成長と幸せの実現のため
やりがいを持って気持ちよく働ける風通しの良い組織にします

2023年度の営業概況

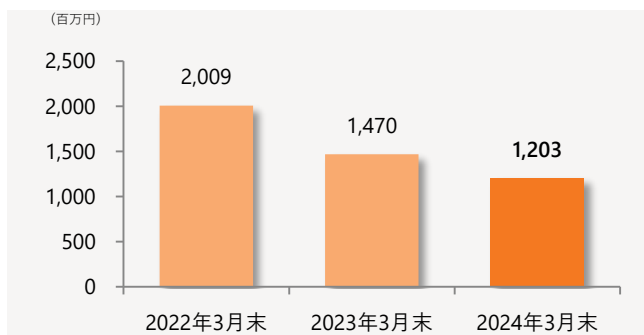
預金積金

預金積金は、個人の流動性預金は増加した一方、定期性預金の減少により、前期比44億円減少の5,222億円となりました。



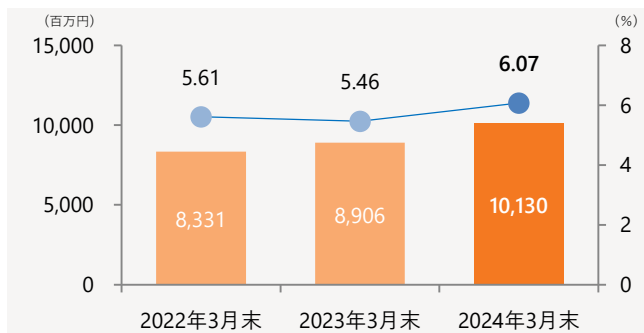
当期純利益

資金運用収益および役務取引等収益が順調に推移した一方、その他業務費用の増加等により、当期純利益は前期比267百万円減少の1,203百万円となりました。



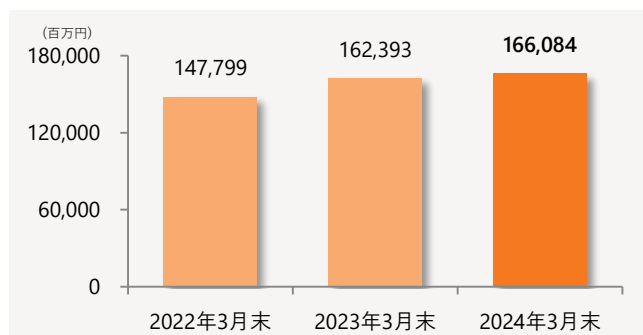
不良債権

毎期年度当初に策定する不良債権処理計画に基づいて処理を進めるとともに、事業再生や経営改善等の支援にも積極的に取り組んでいます。不良債権額は前期比1,224百万円増加の10,130百万円となりました。また、不良債権額の増加により、不良債権比率は0.61ポイント上昇の6.07%となりました。



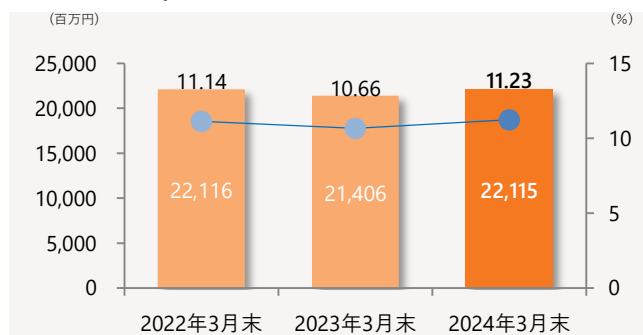
貸出金

貸出金は、課題解決に着目したご融資のご提案に加え、各種個人向けローンのご提供、地公体等向け融資の推進などにより、前期比36億円増加の1,660億円となりました。



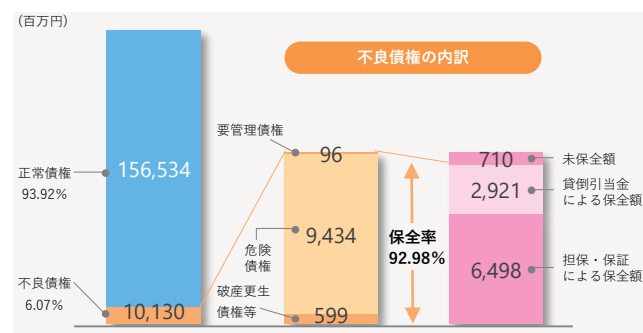
自己資本

利益の外部流出を抑制して内部留保の積み上げを行い、自己資本の充実を図っております。その結果、自己資本額は709百万円増加し、自己資本比率は前期比0.57ポイント上昇の11.23%となりました。



金融再生法開示債権

不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証および貸倒引当金により92.98%がカバーされています。また、保全されていない金額（約7億円）についても、自己資本によりカバーされており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。



第115期 剰余金処分計算書

2023年4月1日から
2024年3月31日まで／単位：円

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	2,325,797,676
剰 余 金 処 分 額	194,171,160
利益準備金	121,000,000
普通出資に対する配当金（年1.0％）	23,988,970
優先出資に対する配当金（年0.7％）	46,200,000
特別積立金	2,982,190
（優先出資消却積立金）	（2,982,190）
繰 越 金 （ 当 期 末 残 高 ）	2,131,626,516

以上のとおりご報告いたします。

2024年6月18日

銚子信用金庫

理 事 長	森 山 博 志	理 事	伊 藤 浩 一（※1）
専務理事	高 木 一 郎（※1）	理 事	大 里 忠 弘（※1）
常務理事	飯 島 良 春	理 事	川 嶋 義 夫（※1）
常務理事	高 橋 豊	理 事	阿 部 典 義（※1）
理 事	越 川 晴 行	理 事	木 村 栄 宏（※1）

以上の各項を調査し、その正確なことを認めます。

監 事	田 向 一 男
監 事	木 村 豊（※2）
監 事	近 藤 典 子（※2）

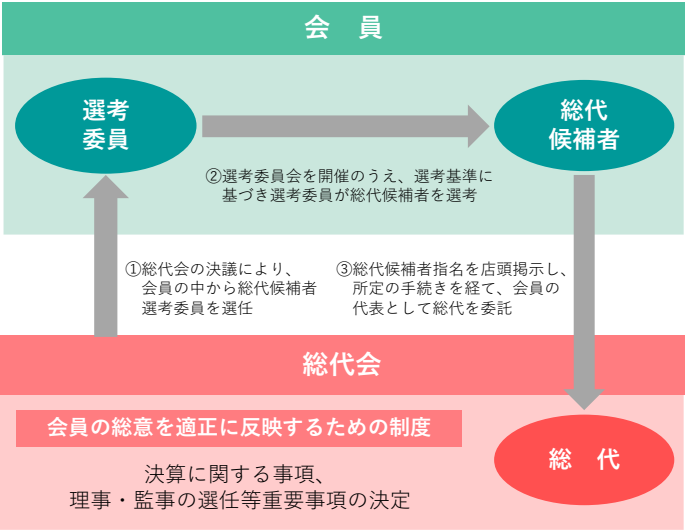
（※1）の専務理事および理事は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

（※2）の監事は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

総代会制度

信用金庫は会員一人ひとりの意見を尊重し経営に反映させる協同組織の金融機関です。
当金庫では、会員の意見を適正に反映し充実した審議を確保するため、会員の中から選任された総代により運営される総代会制度を採用しています。

総代会は、会員一人ひとりの意見を
適正に反映するための開かれた制度です。



出資に関するお知らせ

- 出資とは
出資は株式会社の株式に相当するものですが、性質は全く異なります。株式のような流動性はなく、自由に売買できるものではありません。また、預金とは違い、すぐに払い戻しする事もできず、預金保険制度の対象ではありません。
- 配当金について
出資に対する配当（率）は、事業年度内の業績や収益状況等により変動し、事業年度終了後に開催する総代会の決議により決定されます。当年度の配当金の詳細ならびにお受取方法につきましては、「出資金残高通知書兼出資配当金振込のご案内（兼領収書）」をご確認ください。
- 出資の譲渡（脱退）について
会員は、いつでも出資金を譲渡して脱退することができます。ただし、ご融資をご利用いただいている間は原則として脱退することができません。出資金を譲渡（換金）する場合は、原則として他の加入者（譲受人）へ譲渡する手続きを行い換金します。譲受人がいない場合は当金庫が譲り受けることとなり、換金には、お申込みから最長1年6か月かかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当金庫の業務地区外に転居なされた方へ
会員たる資格を満たさなくなってしまうため、法定脱退の手続きをとっていただくことになります。詳しい手続きについては、最寄りの当金庫本支店窓口までお問合せください。

ちょうしんきんSDGs宣言

ちょうしんきんは、経営理念に掲げる「地域の最良のパートナーとして、常に地域とともに歩む」を活動の根源に据え、地域の課題は当金庫の課題であるとの認識のもと、その課題解決に積極的に取り組み、地域の持続的な発展に貢献してまいります。

SDGs重点事項に関する主な取り組み状況

旭ウレシイ商談会

6回目となる「旭ウレシイ商談会」を、2024年1月23日（火）に旭中央支店で開催しました。当日は24先の事業者の方々に参加いただき、42件の商談が行われました。



地域経済の
持続的な発展

金融教育出前授業

「お金の使い方を学ぼう!」をテーマに、銚子市内の全小学校（11校）で金融教育出前授業を行い、延べ325名の児童にお金の役割や使い方について学んでいただきました。



豊かな
地域社会の実現

環境保全活動

例年実施している銚子市の君ヶ浜海岸清掃や地域の清掃活動を行いました。また、脱炭素経営サポート業者との業務提携を開始し、お客さまの脱炭素経営に向けた支援にも積極的に取り組んでいます。



地域環境の
保 全

SDGs推進チーム

入庫2年目の職員で構成された“SDGs推進チーム”を中心に、「銚子みなとまつり花火大会観覧企画」や「こどもの未来古本募金」、「ちょうしんきんフードドライブ」を実施しました。



ガバナンスの
強 化

SDGsとは、

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。2015年9月に国連サミットにおいて全会一致で採択された2030年までの国際目標で、「誰一人取り残さない」を基本理念とし、持続可能で多様性と包摂性（社会のすべての人に配慮を払うこと）のある社会の実現を目指すものです。

「すべての人に健康と福祉を」や「住み続けられるまちづくりを」など持続可能な世界を実現するための17のゴールと、それらのゴールごとに設定された169のターゲット（個別目標）で構成されています。



2023年	
4月	2023年度入庫式（新入職員20名）
	第33回「若手社員研修会」開催
6月	第114期「通常総代会」開催
	イオンモール銚子にて住宅ローン相談会を実施
7月	認知症サポーター養成講座の実施
	第33回「若手社員研修会フォローアップ研修」開催
8月	銚子みなとまつり花火大会観覧企画の実施
	「こどもの未来古本募金」に参加（8～9月）
9月	銚子市内の全小学校（11校）で金融教育出前授業を実施（9～10月）
	「ウレシイくらしのセミナー（終活セミナー）」開催（銚子会場）
10月	「ウレシイくらしのセミナー（終活セミナー）」開催（茨城会場・旭会場）
	「2023 しんきん食の商談会 in CHIBA」開催
	庫内ロールプレイング大会開催
11月	城南信用金庫主催「よい仕事おこしフェア」参加
12月	定期預金キャンペーンを実施（12月～翌年1月）
2024年	
1月	第6回「旭ウレシイ食の商談会」開催
2月	ちょうししんきんフードドライブの実施